

幼児教育実際指導研究会

分科協議会より

保健

指導 平井信義

問 三歳児の保育時間は、どの程度にしたらいよいでしょう。

A 私の園はバスを使いますので、年長組と同じで、九時にはじまります。水曜日と土曜日は弁当がないので、十一時半に、弁当のある日は一時に帰ります。

B 母親は長くあずかってほしいというのですが、三歳児はおやつがないと一時まではどうしても無理になってしまいます。

C 私どもの組は、九時から始めて、一時に帰ります。入園当初はやはり疲労がございいますが、しだいになれてくるにしたがって問題ではなくなりました。

平井 今、無理といわれましたが、それは

どういうところにあられてきますか。
B 午後になるとぐずり、食事のあといいねをします。

D 私の園には、だまって四歳児として入園した三歳四ヶ月の子どもがいます。知能も身体も見劣らないのですが、疲れるようすがどうもへんなのです。親がみていると他の子どもとよく遊べないで、帰ってしまうとよく遊んでいます。四歳児の中にいれておいてもよいか迷っています。

C 三歳は指導がむつかしく、四歳と同じような遊びや仕事をしているから疲れるので、三歳だけ独立させてやれば、そんなにむつかしくはないと思います。入園当初はどう

しても疲れがですが、疲れたようなときは、休息をとりますので、さほど困っていません。九時から一時までの四時間を遊びにまぎらして楽しくすごしています。

平井 保育時間は少い園は二時間、多いところは五時間ですね。

三歳児の保育を考えたとき、身体の疲労上無理であるなら、幼稚園にいれることはない、ということになるでしょう。母親の要求で、どうしても入園させなければならぬということ、また私立では、三歳児の数が少ないと経営上困るということもあって、三歳児は大きな問題になります。子供自身については、精神と肉体の疲労がありますね。最近、幼稚園へ入れた方が家庭にいるより身体的に悪いのではないか、ということがときどき言われます。しかし二年保育と三年保育の子どもの、身長・体重の差だけを比較して結論し

ているのを信用してはいけません。スタートで平均値が同じでなければ、個人差があるのですから意味がありません。一園の中だけでしても意味がありません。その子どもの知能や体格が四歳児なみの場合には三歳児を四歳児の中に入れてもよいと考えられるようです。しかし、知能や体格がよいということから、年長の子どものグループにはいってもよいという考えはなりたちません。情緒的な発達や運動機能の問題を考えねばならないからです。

けれども、三歳児のグループをつくったときと、二年保育の中に入れていたのでは、ずいぶん精神的緊張の度がちがうと思うのです。保育時間についていえば、さまざまの幼稚園がありますから、何時間保育するのがよいかということはいちがいにはいえません。三歳児の場合、入園当初は少し疲れがあるが、なれてくるにしたがってよくなる、という場合にも、一年を通じてみて無理であったらやめさせなければいけないと思います。

母親の要求ということは大きながらですが、家にいると祖母や曾祖母がいて悪い影響をうけるから、どうしても入園させてくれということがあると思います。このような

き、母親の要求をうける方がよいか、ことわった方がよいかということが問題ですね。この場合、社会情勢、環境などを考えあわせて承諾することが必要です。ついていけるといふ子どもでも、保育者としてみていて、どこかで疲労がでていたり、また幼稚園の中では元気でいるが、家に帰ると全部生活習慣がだめになってしまふという場合があると思います。それではなんにもなりません。このようなことは、四歳児の中に二、三人の三歳児をいれている場合によくみられることです。

疲労を測定するのに、ヘモグロビンをほかったり、唾液をはかったりする科学検査もありませんが、今後、園自体が研究した結果を表していただければありがたいと思います。

問 組分けはいつ、どのようにしたらよいのでしょうか。

平井 三月生れの子どもと、四月生れの子どもと、知能の差がずいぶんあるようです。

A 四月から九月、九月から三月生れの二組にわけて保育をした場合には、ずいぶん能力差があり、それが一年後には、ひじょうに大きな差になってあらわれてしまいます。そしてそれが父兄会するときなどに不満の声とな

ってあらわれるのです。そこには先生の問題もあるのですが。月令でわけるときにでてる問題です。

B 二年保育ならばそういうことをやりませんが、一年保育の場合は、生れ月を考えなくてもよいのではないのでしょうか。子どものそのときの状態によって、子どもの方にその必要がほしい場合はしたらよいが、その他の場合はしないとか、あるきまった線をもたない方がよいのではないかと思います。私の幼稚園でも昨年は生年月日順にわけていましてが、どうしても区別がはっきり出てくるのです。一方は身心ともに成長し、一方はいかに幼稚園であるので、今年はおちゃごちゃにしてみると、とてもよい結果になりました。その年の園児のようすによってきめるのがよいと思っていますが。私の幼稚園では、志願者を全部いれるのではないので、ちょっと違うのですが、志願者を全部いれるところでは、その年によって差が大きくなると思います。いなかでは近所の人だけのクラスをつくるということがありますが。

C 私の園では、年長・年少にわけていますが、卒業頃はそんなにかわらなくなりま

平井 整理してみますと、(1)子供による、(2)保育者による、の二つの原因から差が生じてくるでしょう。差ができるということは、スタートではわかりませんが、ずいぶん大きな問題だと思います。はじめから体重・身長をわけてみて、均等なものにわけられないのですか。

B かつては入園のテストの総合点の結果から、均等にわけたこともございましたが、それでも開きがでてくるのです。

平井 月令によってわけたとき、知能や体力で差がでるのか、またどちらのものでも開いて差ができてくるのか、ということについて研究なさって、その研究発表がなされたらさいわいです。体力的なもの、知能的なものほかに、先生が消極的だったりして差がつくのです。途中でそれに気づいて、もし体重・知能でおくれをとっているようならば、次の年に積極的な先生にかえてしまってもよいのではないのでしょうか。

問 幼児の弁当の作りかたについてきかせてください。

A 弁当では母親の気づかいがよくわかります。よほどたべたべたように心をつかう母親がいるかと思えば、まずいものをもたせる

母親もいます。どうしたらよいかと思っております。

B 私の園では完全給食をやっています。

C 私の園では弁当しらべをしました。母親をはじめはやがりましたが、「健康のしおり」をつくって栄養価のことを書きましたら、栄養のある弁当をもたせるようになりまして。これからもやろうと思っております。

D 私の園では、弁当のカロリーを全部表にして母親にみせます。そして子どもは高価でなくても、色彩感覚で食欲をそそられること、一般に灰分が足りないことなどを話します。入園の一ヵ月前には、母親に弁当のことを話したり、園児の食事時間をこらんだ話をしています。

E 私の園では三百八十人の園児がいますが、生活程度が違うので、ある子どもがよいものをもってくると他の子どもがそれをほしがったりします。給食の希望が多いので、法の許可があればよいと思います。

平井 生活程度の差は大きな問題ですね。栄養食の話をすると、関心のある親は、味や色彩を考えるが、めんどろがると、買ってすぐ弁当の中に入れておきたいようになってしまふようです。さっきの弁当しらべはいいにやったのですね。

ねいにやったのですね。

C 園医からせきたてられてしました。私の園は、一般に安定して中位の生活をしている家庭の子どもです。母親の中には、いわゆる丸煮を弁当におしこんでおくひともいます。啓蒙すればよくやってくれます。

パンにはおかずをつけていただくようにしています。子どものすかない人参、ねぎなどは、他のものとまぜてサンドイッチのようにしてたべさせればよいのではないのでしょうか。牛乳は一合のませることにしています。

平井 園で飲ませていると便利ですね。肝油なども飲ませたらよいと思います。

逆に人參ばかりもつてきて、のこしてしまったり、いれすぎてしまったり、知識をもっているゆえのへい害もあります。

A 私の園でもそれがあって、のこして帰ると母親になにかいわれるという心配で、子どもの重い負担になります。

平井 テンポのおせい子と、気が散ったり、いやいや食べている子と二種類あります。テンポのおせい子の方が少いと思うのです。必需量ということがありますが、どの子に何グラムということはデータがありません。たべない子がやせているとはかぎらないので

す。

C 弁当のときに泣きだす子どもがいま
す。無理にたばさせてはいけませんね。

平井 ジャーシルドは、食事は母と子との
闘争だと言っています。母親は無理にたばさ
せようとして、子どもはそれに対して逃げて
いる。子どもが興味をもってたべるといっ
とがいちばんです。それは母親の指導以外に
考えられません。たくさんたべるとは、熱
量が多い子どもが楽しくたべていないので
す。少ししかたべないからといって栄養失調
になると考える母親は、こういう考えから解
放されなければなりません。あまりたべたが
らない子どもは、集団生活や絶食などをすれ
ば、すぐにおります。

問 そしゃくの不十分な子どもはどうした
らよいのでしょうか。また早く弁当をたべ終
った子どもは、どうしたらよいでしょう。

平井 早く終ってプラシコをとろうとする
子どももいるのではないのですか。

よくかむということですが、歯医者の立場
からみると、子どもの歯はがたがたくてしま
っているのが多く、あの歯ではかめないとい
うことです。

問 幼児の清潔の問題についておきかせく

ださい。

平井 清潔にするということを幼児に自発
的にさせるのは、無理ではないかと思いま
す。小学校二、三年くらいからは自分です
んでいたしますが、それ以下の年齢では、周
囲からの働きかけ——特に母親の指導で母親
がやる気にならなければだめですね。

弁当の問題でも、やる気にならなければし
かたがないし、またやりたくても水道の便が
悪かったりして、だめになったりします。ま
た、砂の中にはいると伝染病になるというよ
うな迷信をとりけすには母親との話し合い
や環境など、さまざまな理解が必要なのです。

幼稚園と小学校との連絡について

指導 武田 一郎

問 小学校の教科と、幼稚園の六領域に一
貫性を保つためにはどんな問題があります
か。

武田 幼稚園の六領域には、どうしても小
学校の教科と結びつかないものが出てきま
す。幼稚園の総合的な領域に対し、小学校の
教科主義的な受けいれかたにちよつと無理が
あるようです。ですから幼稚園から小学校に

問 他にこうしたことは、せひ園でするよ
うにということがあったら教えてください。

平井 積極的健康保育の最低線として、医
者の立場からいえば、子どもを死なせないとい
うことです。赤痢、疫病、大腸かたなるなど
の消化器系の病氣と、もう一つは、木から落
ちたり、交通事故のような不慮の災難から、完
全に子どもを守らなければいけません。地域
的な問題もありますが、前者は、手を洗う、買
いぐいをやめさせるというようなことで守る
ことのできるのです。こうなると食生活の点
で指導することも必要になってきます。子ど
もにとつて買いくいは抜け穴なのですから。

強く働きかけて、せめて小学校の一学期間だ
けでもそのうけいれ準備をしてくれるよう要
請すべきです。それぞれの指導要領ができた

時期からみて、嚴密のいみでは連絡はないの
です。たとえば、小学校においては「社会」
は身辺的な問題から範囲が拡大されて、それ
ぞれの知識となっていくが、幼稚園の「社
会」では生活指導の内容が多くなっていま